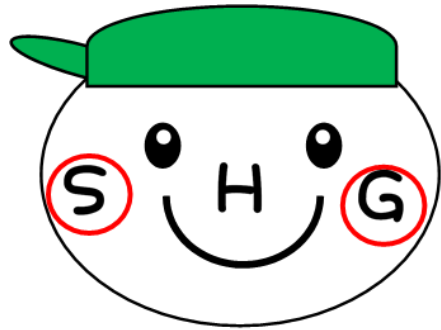


令和5年度 学校保健会 研究大会 研究概要



札幌市学校保健会キャラクター
「サガホ」くん

研修部 緑丘小学校 丸山 悠

研究主題

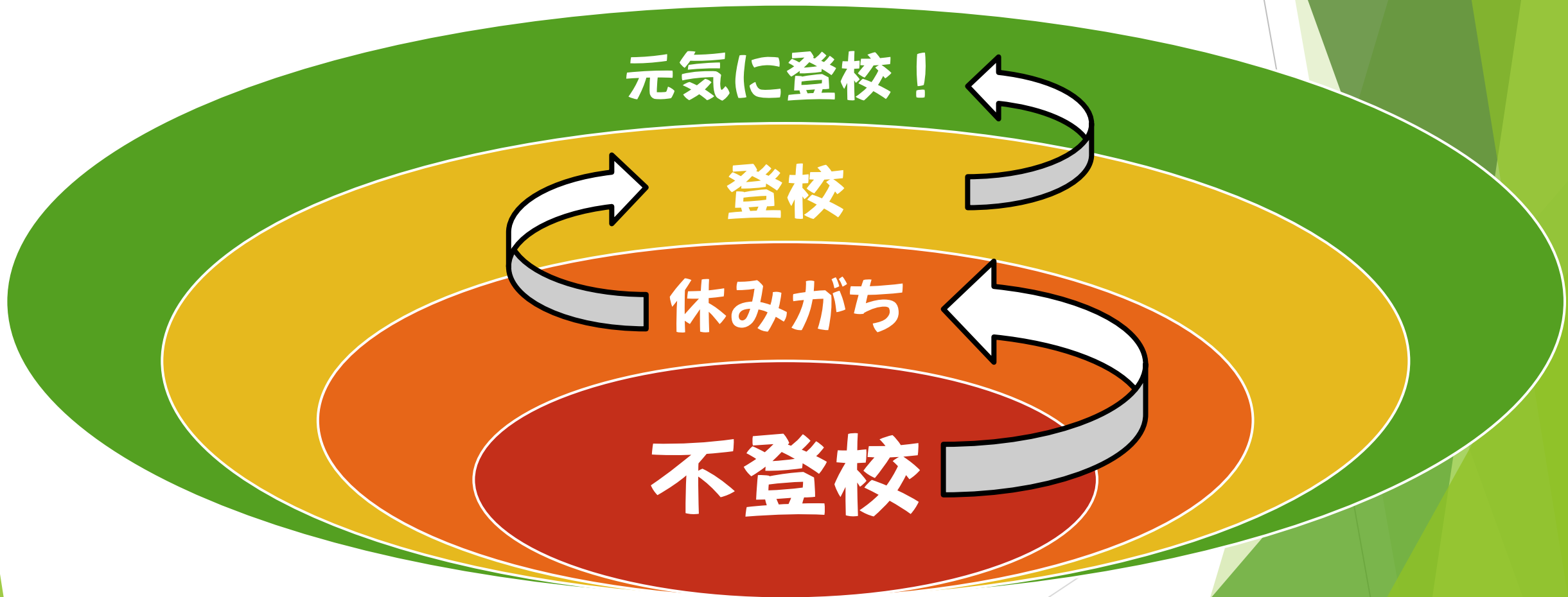
児童生徒自らが健康を
創りだす実践力の育成

研究副主題

～健全な自尊感情と

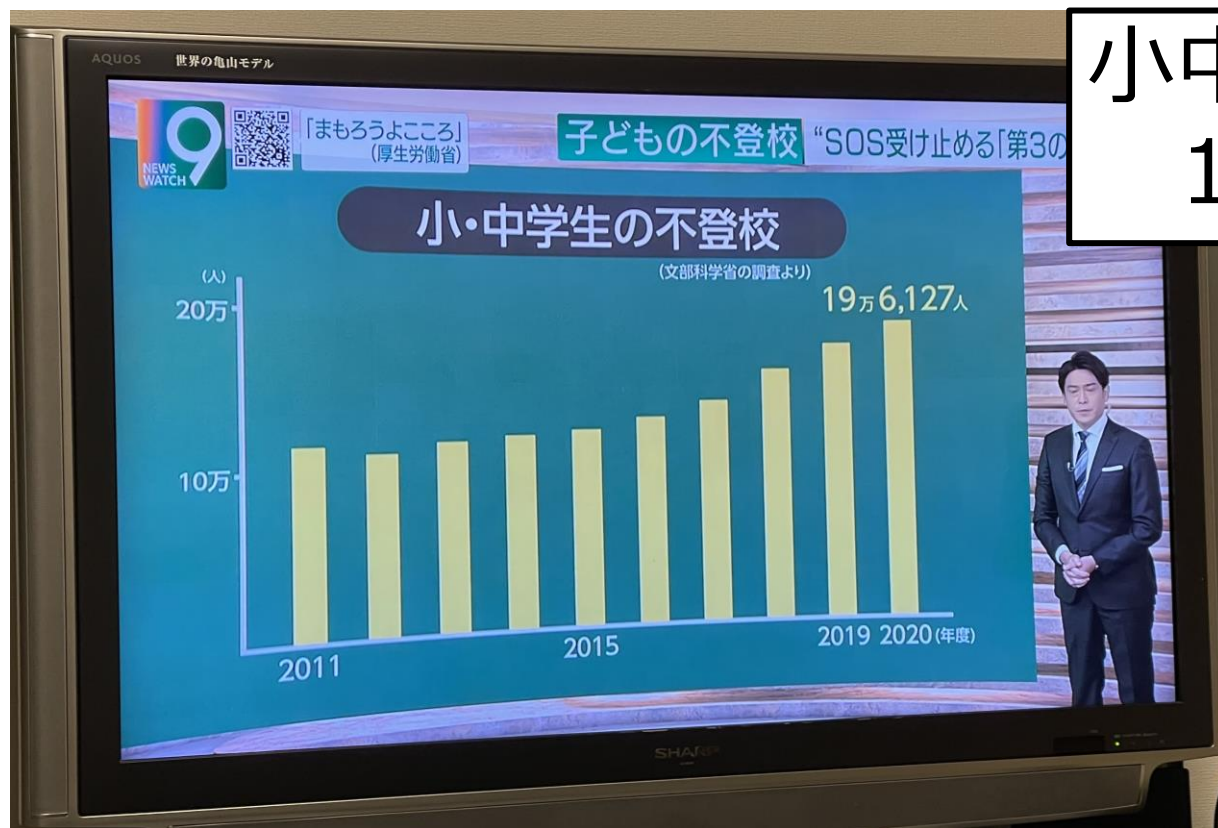
確かな知識を育む健康教育～

不登校の子どもたちの気持ちを考えることで
多くの子どもたちの困りが見えてくる



NHK NEWS WATCH 9

令和3年10月13日より

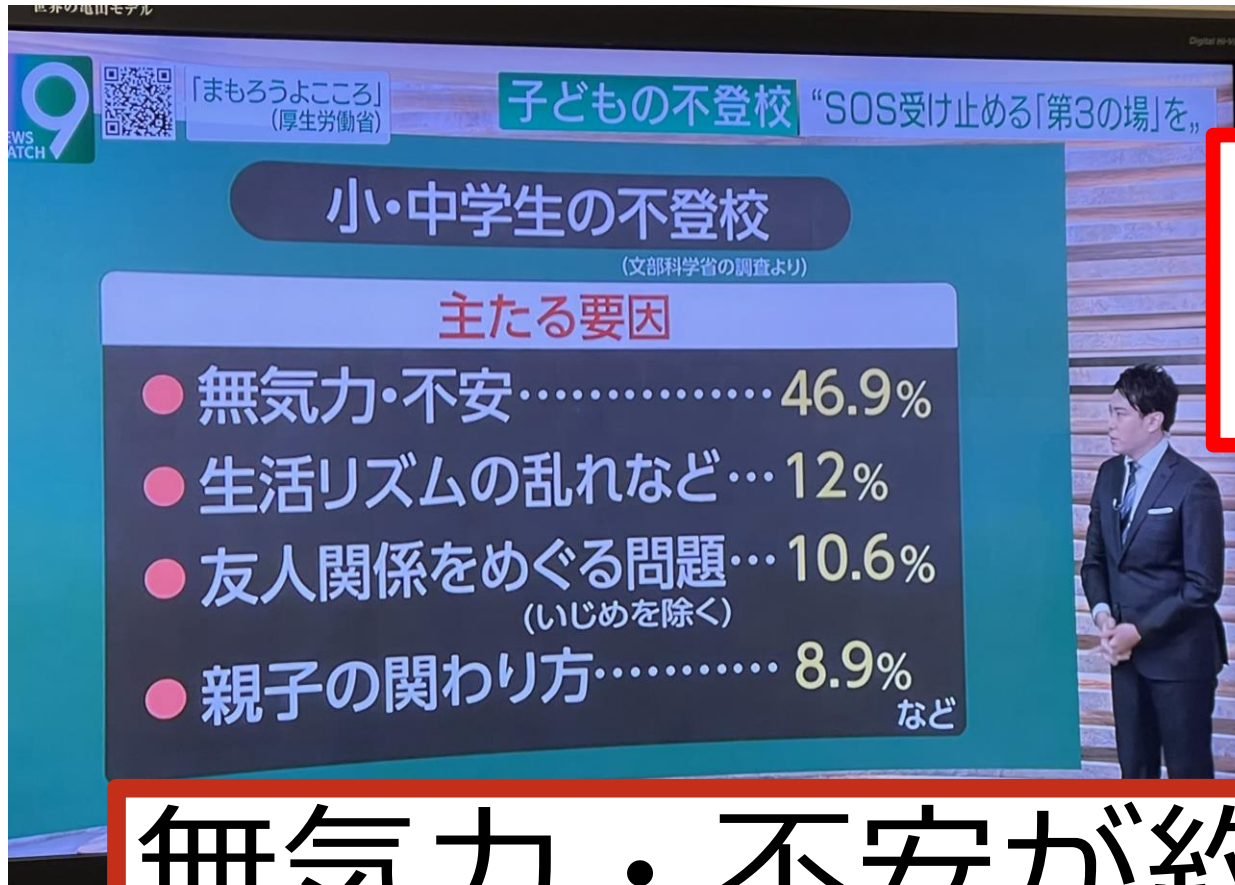


小中学生の不登校
19万6127人

年々増えている

NHK NEWS WATCH 9

令和3年10月13日より



不登校の
主たる要因

無気力・不安が約半数

札幌市の不登校の状況

不登校児童生徒数

令和3年12月11日
研究大会 半澤先生の講演より

	H30		R01		R02	
	不登校児童生徒数	1000人あたり	不登校児童生徒数	1000人あたり	不登校児童生徒数	1000人あたり
小学校	628	7.0	832	9.3	1,075	12.0
中学校	2,007	46.2	2,104	48.4	2,400	55.3
合計	2,635	19.7	2,936	22.1	3,475	26.1

小学校
H20 262
H25 321
ここ数年の
増加が顕著

政令市の不登校児童生徒数は、平成29年度から公表されています。

札幌市の不登校の状況

不登校児童生徒のうち90日以上の欠席

令和3年12月11日
研究大会 半澤先生の講演より

長期化しているケースが多くなっているのも、課題

	H30	R01	R02
小学校	376	471	573
中学校	1,384	1,345	1,565
合計	1,760	1,816	2,138

政令市の不登校児童生徒数は、平成29年度から公表されています。

不登校の子の心を見ようとすることで・・・

今を生きる
多くの子どもが抱える
不安・困惑・動揺

所属団体・各部会で何ができるのか？

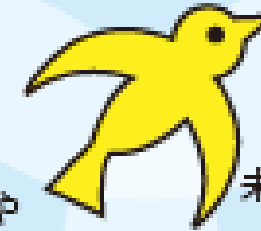
子どもたち
をとりまく
環境

学校関係者
だからこそ
できること

令和3年12月11日
研究大会 庄井先生の講演より

札幌市の子どもたち
一人ひとりの
Well-beingを目指す！

学んだことを人生や
社会に生かそうとする
学びに向かう力、
人間性など



！
実際の社会や
生活で生きて働く
知識及び技能

未知の状況にも
対応できる
思考力、判断力、
表現力

所属団体・各部会で
何ができるのか？

昨年度は

○全部会に研究大会で15分程度の発表をしていただきました。

○不登校の問題を切り口にそれぞれの部会の所属団体の特長を生かして話し合いを進めていただきました。

健康教育

早寝・早起き・朝ご飯を食べることで、一人一人のWell-beingを守ることができる。

地域保健

学校と地域（学校医）とがいかに結び付いて子どもたちの健康課題について取り組んでいけばよいかの枠組みの提示

昨年度の研究大会の発表テーマ

心の健康

コミュニケーション能力を高めたり、他と適切に関わる場を作ったりすることで、心の健康を維持・促進していく

保健管理

目の健康を守るために、学校保健会としてできることを探る

今年度は・・・

ここでの話し合いを札幌市の子どもたちへ届ける！

- 1、担当事務局員から
- 2、部長さんの紹介
- 3、部長さんの御挨拶
- 4、話し合い（司会：部長さん）
 - ①自己紹介
 - ②昨年度の発表に対して各所属団体の視点から（個人的の視点でも構いません）
 - ③どのような実践が考えられるか
 - ④部長さんのまとめ
- 5、担当事務局員から